

Chapter 2

価値創造ストーリー

人口動態の変化、デジタル革命の進行、世界の多極化、気候変動・地球温暖化などの世界的な潮流を背景に、今、世の中は大きく変わろうとしています。コニカミノルタは、こうした変化にしなやかに対応しながら長期の視点で経営を推進していくために、2030年を見据えた長期の経営ビジョンを策定しました。

私たちの社会的存在意義は、当社独自のイメージング技術をコアに時代とともに変化するお客様の「みたい」というニーズに応え、「人間中心の生きがい追求」と「持続的な社会の実現」を高次に両立することです。この考えを集約したステートメントが、経営ビジョンに掲げる「Imaging to the People」です。これを具現化するために、5つのマテリアリティを追求し、長期的な企業価値の向上を目指します。

長期の経営ビジョン

Imaging to the People

- お客さまの「みたい」を実現することで、グローバル社会から支持され、必要とされる企業
- 人と社会の持続的な成長に貢献する、足腰のしっかりした、進化し続けるイノベーション企業

当社の社会的存在意義

人間中心の生きがい追求
(個別化・多様化への対応)



高次に両立

持続的な社会の実現
(顕在化する社会課題の解決)

マテリアリティ



働きがい向上及び
企業活性化



健康で高い
生活の質の実現



社会における
安全/安心確保



気候変動への対応



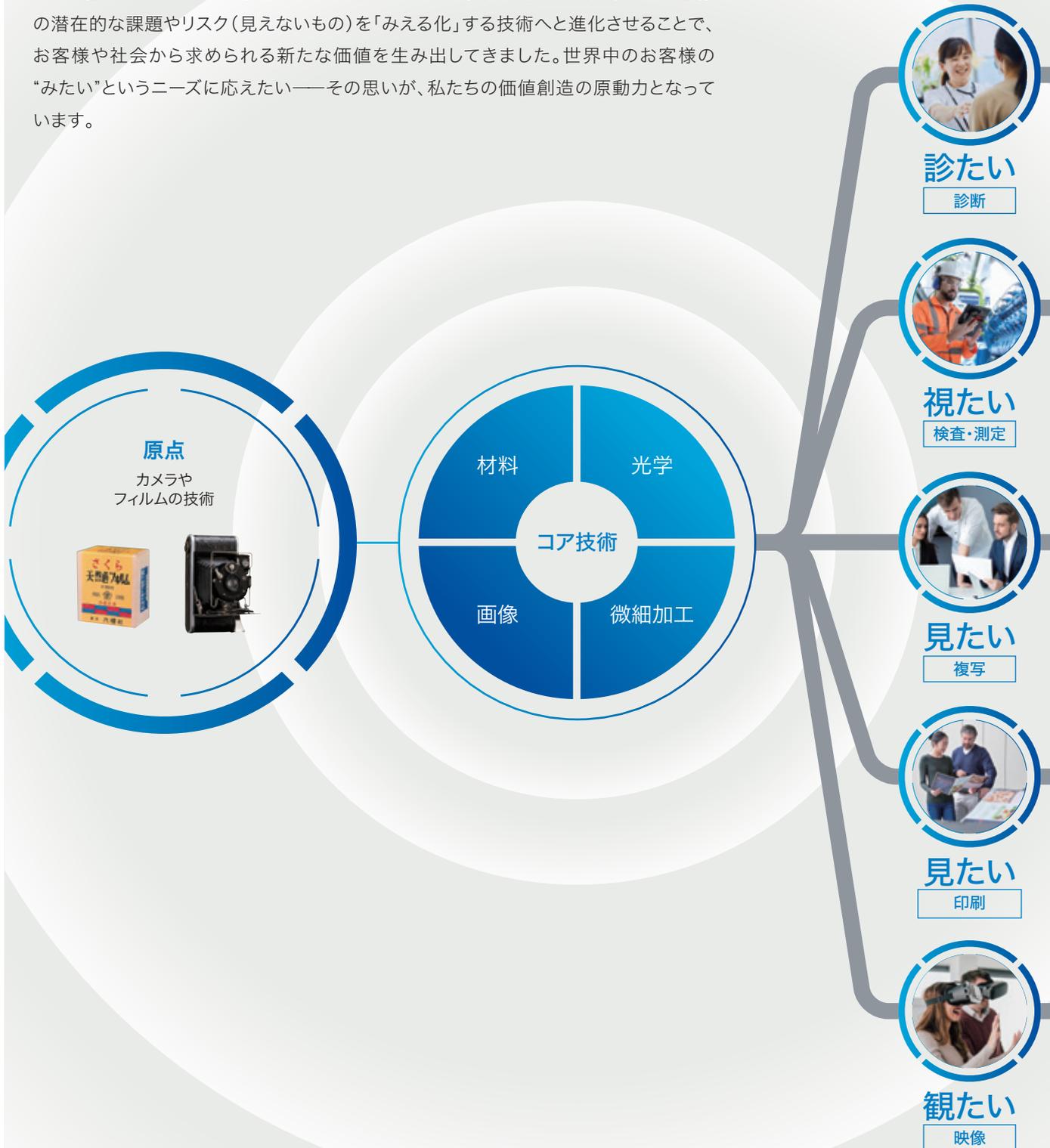
有限な資源の
有効利用

私たちのDNA

人々の“みたい”に応える

価値創造の原動力となる「見えないものをみえる化」する技術の進化

カメラやフィルムの製造をルーツとするコニカミノルタは、画像の入出力や処理を中核とする独自のイメージング技術を培ってきました。この技術を脈々と受け継ぎ、お客様の潜在的な課題やリスク(見えないもの)を「みえる化」する技術へと進化させることで、お客様や社会から求められる新たな価値を生み出してきました。世界中のお客様の“みたい”というニーズに応えたい——その思いが、私たちの価値創造の原動力となっています。





介護スタッフの業務をみえる化



HitomeQケアサポート

疾病を早期にみえる化



デジタルX線撮影装置



超音波診断装置



医用画像情報システム

疾病の兆候をみえる化



創薬支援サービス

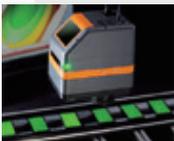


遺伝子検査サービス

ものづくりの品質をみえる化



物体色計測器



ディスプレイ計測器



自動車外観検査

社会における安全・安心のみえる化



状態監視ソリューション



ガス検知ソリューション

ビジネスドキュメントをみえる化



デジタル複合機



オフィス内の出力環境をみえる化



出力環境最適化サービス

業務プロセスの課題をみえる化



Workplace Hub

印刷物を高精彩にみえる化



デジタル印刷システム

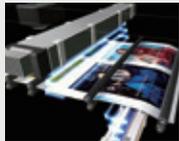


UVインクジェット印刷機



インクジェットヘッド

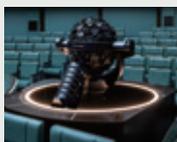
印刷のプロセスの課題をみえる化



品質最適化ユニット



美しい映像をみえる化



プラネタリウム



偏光板フィルム



プロジェクター用光学ユニット



VRサービス

バーチャルな世界をみえる化

私たちの目指す社会

そして2030年の未来へ

コニカミノルタが追求する5つのマテリアリティ

今日、人口構成の変化や社会保障費の増大、気候変動、資源枯渇などの社会課題が顕在化しつつあります。コニカミノルタは、2030年を見据えて、これらの課題が当社グループと社会に与える影響を機会とリスクの観点から評価し、そこからバックキャストして「今、私たちがなすべき」ことを5つのマテリアリティとして再特定しました。これらのマテリアリティを軸に事業活動を通じて社会課題の解決に貢献することで、人々が生きがいを感じられる、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



働き方の課題を
みえる化

マテリアリティ ①

働きがい向上 及び企業活性化

世界の多くの経済圏において労働力不足が予測されるなか、インテリジェントコネクテッドワークプレイスやオンデマンド生産、画像IoTなどのソリューションにより、お客様の生産性の向上と創造的な業務へのシフトを支援します。



医療・介護の課題を
みえる化

マテリアリティ ②

健康で高い 生活の質の実現

高齢者の増加にともなう社会保障費の増大や、開発途上国における医療・介護へのアクセスが課題となるなか、遺伝子検査や動態解析、介護ソリューションなどを通じて、疾病の早期発見や介護受入者の拡大、そして人々の生活の質の向上に貢献します。





社会のリスクを
みえる化

マテリアリティ ③

社会における 安全／安心確保

サイバー攻撃や自然災害、パンデミックなど人々の労働や暮らしを脅かす事象が頻発するなか、労働現場でのリスクの可視化やセキュアな労働環境を実現するソリューションを提供し、安全・安心な社会づくりに貢献します。



CO₂をみえる化

マテリアリティ ④

気候変動への対応

地球温暖化で海面の上昇や生物多様性の喪失、自然災害といった人々の暮らしに影響を与える環境変化が進行するなか、当社グループのCO₂排出を削減しつつ、お客様・お取引先のCO₂排出削減に寄与することで、カーボンマイナスを実現します。



限りある資源を
みえる化

マテリアリティ ⑤

有限な資源の有効利用

人口増加にともなう資源消費の増大でその枯渇が懸念されるなか、自社のサプライチェーンおよび、お客様・調達先における資源の有効利用を進めていきます。



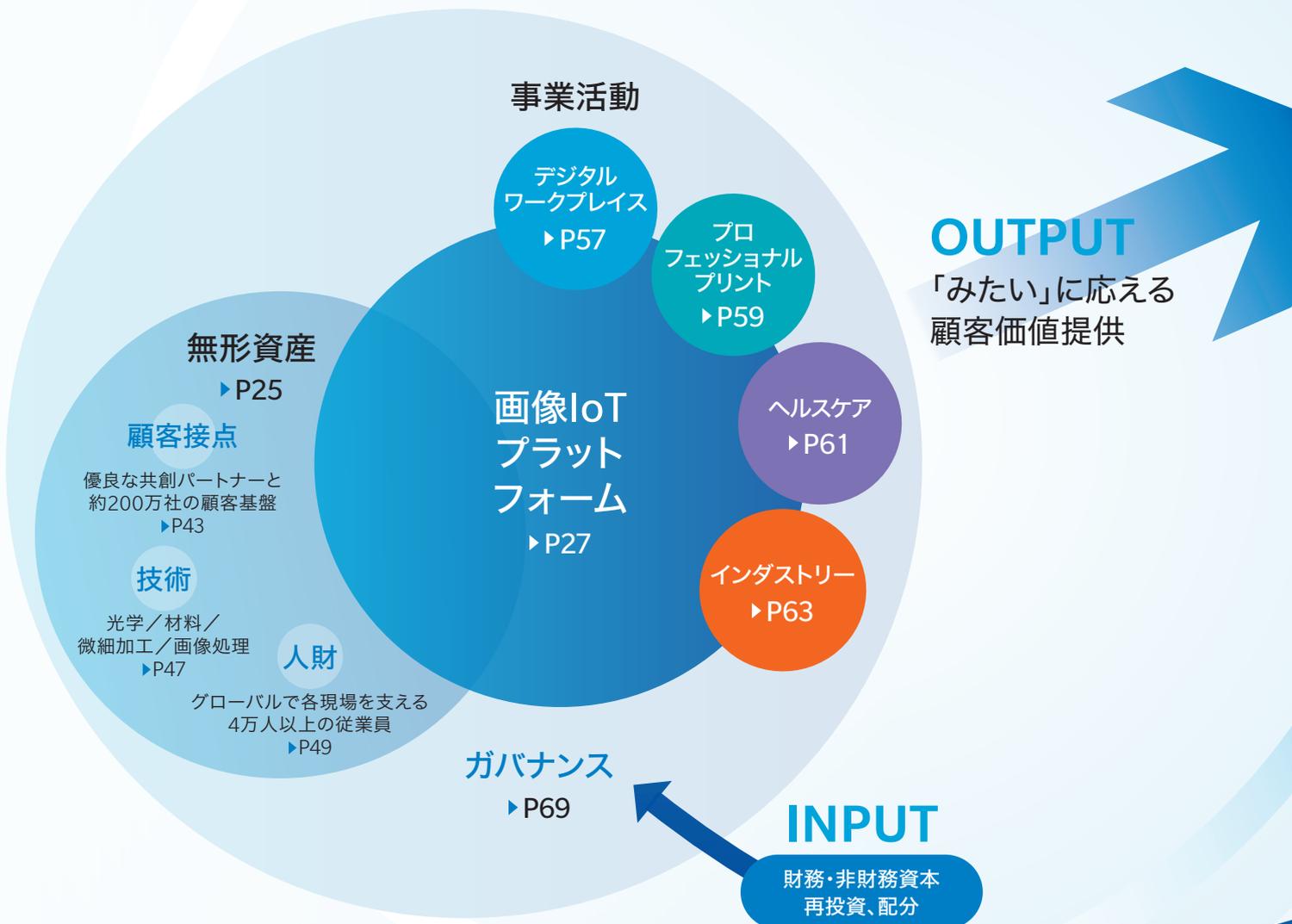
価値創造プロセス

将来的な社会課題を見据え 持続的な価値創造へ

コニカミノルタは、「顧客接点」「技術」「人財」といった無形資産を活かして、独自の「画像IoTプラットフォーム」をベースとしたデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進し、各事業の競争力強化を図っています。各事業において、お客様の「みたい」というニーズに応えるソリューションを提供することでマテリアリティを追求し、将来的な社会課題の解決に貢献していきます。同時に、キャッシュ・フローの創出力を高め、無形資産と事業の強化に再投資することで、持続的な価値創造を実現していきます。



ワークフローの効率化、
業務生産性の向上



マテリアリティ ▶ P21、37



働きがい向上及び
企業活性化



健康で高い
生活の質の実現



印刷現場のワークフロー
改善、マーケティング
ROI向上



社会における
安全/安心確保

IMPACT
社会課題の解決



気候変動への
対応

OUTCOME
キャッシュ・フローの
創出



早期診断の効率化、
診断の質の向上



有限な資源の
有効利用



工業製品の品質向上、
製造現場の生産性
向上

2030

将来的な社会課題

- ビジネスライフサイクルの短縮傾向
- 先進国の労働人口減少/少子高齢化
- 医療費負担の増加
- 医師不足
- 介護スタッフ不足
- 社会インフラの老朽化
- 気候変動
- 情報セキュリティリスクの増大
- テロ・災害の脅威
- 資源枯渇

価値創造の源泉となる無形資産

「顧客接点」「技術」「人財」を強みに 事業競争力の向上へ

コニカミノルタは、「顧客接点」「技術」「人財」の3つの無形資産を源泉に持続的な価値創造に取り組んでいます。世界150カ国、約200万社との「顧客接点」は、お客様のニーズを深く洞察し、付加価値の高い製品・サービスを生み出すうえで大きな強みです。また、見えないものをみえる化する「技術」は、事業の基盤となる「画像IoTプラットフォーム」を支える重要な強みです。そして、世界各地の拠点にいる40,000名以上の「人財」が、それぞれの現場で、顧客接点や技術を活かして新たな価値を創出し、各事業のさらなる競争力向上に挑戦しています。



顧客接点

隅々まで行き届く 顧客へのアプローチ

- グローバル約200万社の顧客基盤とそれを支えるセールス・サービス網
- 現場に入り込み、真の課題を見つけ出し価値共創する顧客との関係性



無形資産 (コニカミノルタの強み)

優良な顧客基盤

顧客企業数

約**200**万社



グローバルな顧客接点

セールス・サービス体制

約**150**カ国



直販比率

約**65**%

技術

お客様の「みたい」
という想いを実現してきた
“みえる化”技術

- コア技術とIoT・AI 技術の融合による“みえる化”技術
- 生産技術・品証ノウハウ・サプライチェーン



豊富な技術資産

特許保有件数

2万件以上



積極的な研究開発投資

研究開発費

740億円



売上高研究開発費率

7.4%

人財／風土

6Valuesをベースに
現場から湧き上がる
共創力

- 違いを尊重し、自由闊達に議論ができる“オープンな社風”
- 自律的に活動していく、外国籍従業員比率75%のグローバルな“現場力”



多様な人財

従業員数

43,961人



IT人財の獲得・育成

画像IoT/AI人財

約500人



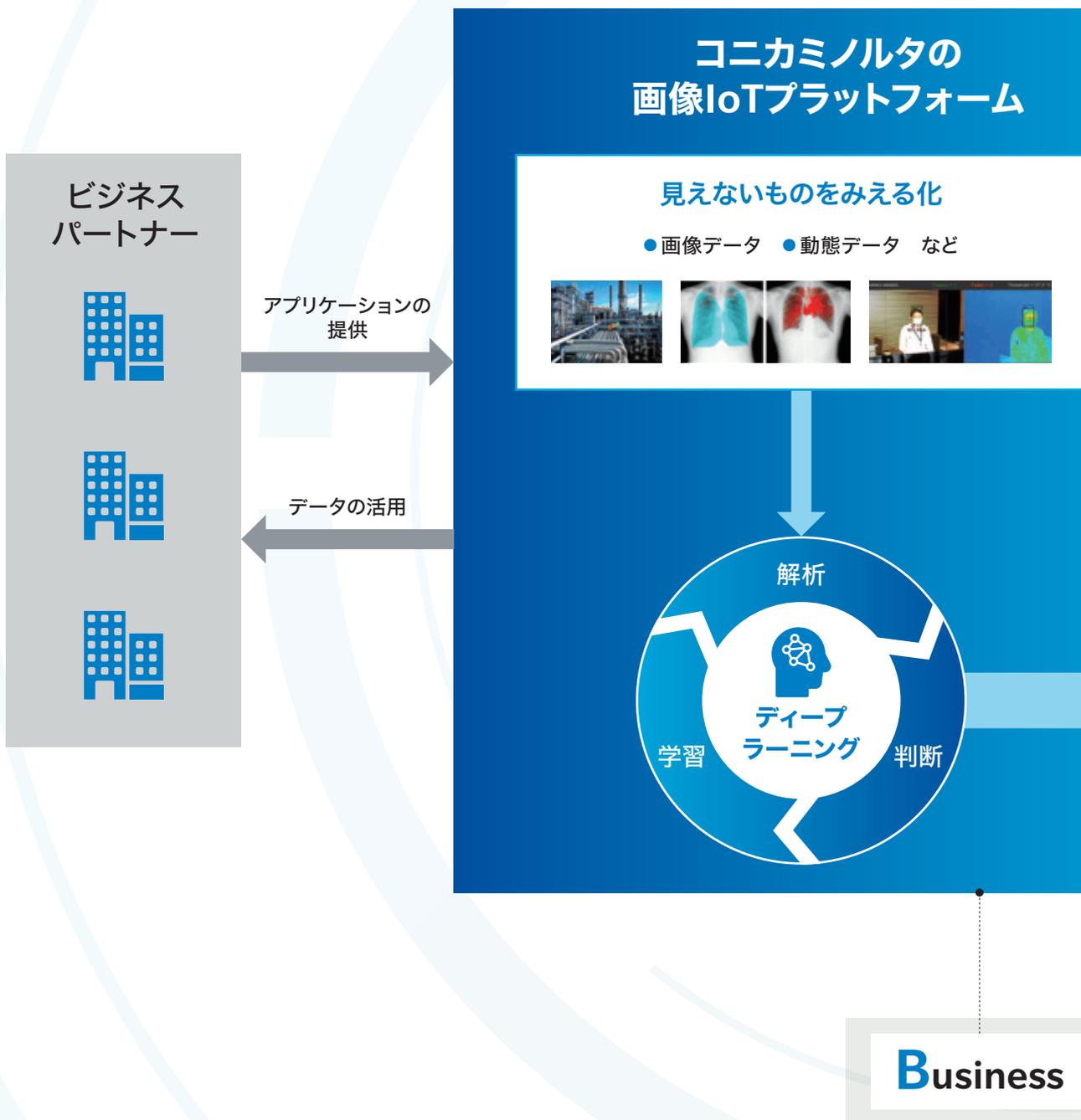
システムエンジニア

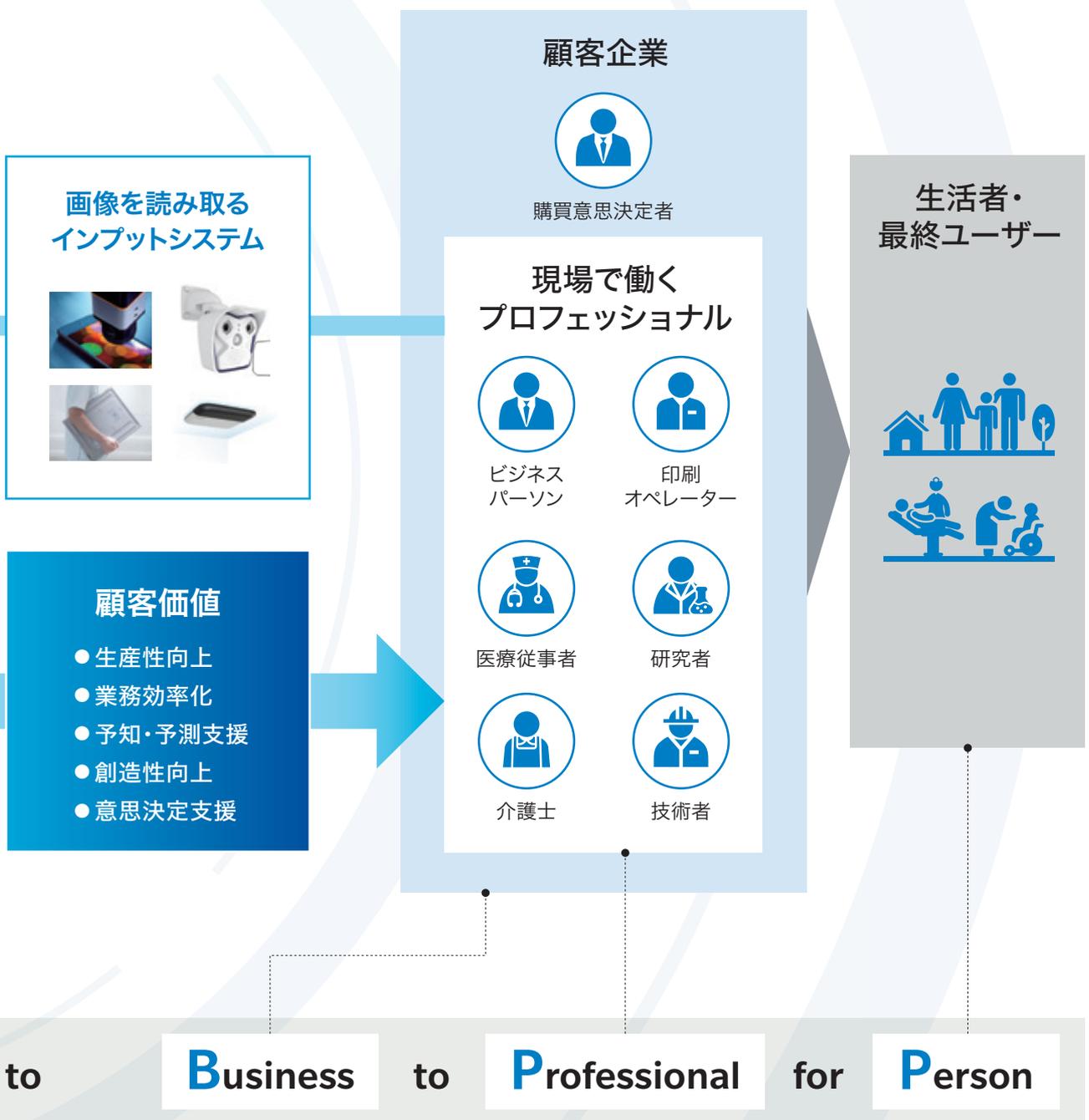
約2,000人

価値を生み出すビジネスモデル

「画像」の強みを活かした 独自のIoTプラットフォームを構築

コニカミノルタは、長い歴史のなかで培ってきた画像技術と、最新のIoTやAIの技術を組み合わせた「画像IoTプラットフォーム」を核としたビジネスモデルの構築を進めています。このプラットフォームを活かして、さまざまな業種・業態のビジネスの現場で働く「プロフェッショナル」が直面する課題を解決し、潜在的な能力や創造性を発揮できるようサポートすることで、生活者や最終ユーザーを含むより多くの人々が生きがいを感じられる社会づくりに貢献する。このような「B to B to P for P」のアプローチにより、中長期にわたる成長を目指しています。





価値を生み出すビジネスモデル

画像IoTプラットフォームによる 価値創出事例



インプットシステム

画像データ・データ

**デジタルワークプレイス
(複合機 + ITサービス)**

- 複合機-スキャン機能 (光学ラインセンサー、A/D変換)
- テキスト情報 (請求書などのスキャン画像からの抽出)
- アクセス情報、ユーザー認証情報

**プロフェッショナルプリント
(プロダクションプリント)**

- ハイブリッド測色 (分光測色計 + CCDセンサー)
- 元原稿データ
- 品質基準情報
- 印刷位置情報

**インダストリー
(計測機器)**

- 光源・物体色検査装置
- ディスプレイ検査装置
- 外観検査装置
- 色・光沢情報
- 品質基準情報

**ヘルスケア
(画像診断)**

- デジタルX線フラットパネルディテクタ
- 超音波診断機器
- 医用画像
 - ・X線撮影画像
 - ・超音波診断画像

**ヘルスケア
(プレジジョンメディシン)**

- DNAシーケンサー
- HSTT (デジタル蛍光顕微鏡画像)
- RIイメージング
- 遺伝子配列/変異
- 細胞、組織画像 (特定タンパク質を分子レベルで検出)
- より広範な臓器の詳細イメージ

解析・画像処理技術

見えるもの(見えていなかったもの)

- デジタルワークフローソリューション
 - ・OCR、タグ付け
 - ・原本性認識
- セキュリティ
 - ・IPフィルタリング

見せる

- プリントドキュメントの内容、プリントジョブ等の解析結果
- 業務フローの非効率なプロセスや不適当な事務処理

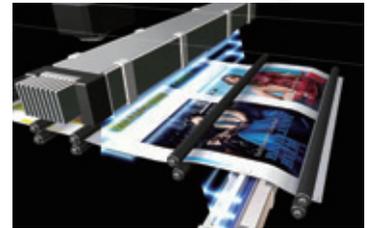


顧客価値 ● 業務の生産性向上・コンプライアンス向上

- インテリジェントクオリティオプティマイザー
 - ・色補正/修正(色再現性)
 - ・表裏同時読み取り技術(高精度表裏位置合わせ)

魅せる

- 他の追随を許さない色再現性
- 作業者の熟練度に依存しない業務フローの実現



顧客価値 ● ロス低減による生産性向上・作業者の熟練度に依存しない業務フローの実現

- 配光測定システム分析SW
 - ・光学パラメーターの総合分析
- Prometric
 - ・測定条件制御等による自動検査
- 光学系角度誤差補正アルゴリズム
 - ・自由曲面の色・光沢測定

視せる

- 人間の五感依存の評価値(自動車塗装における光沢、色等)
- 高速生産ラインで検知しにくかった欠陥や傷

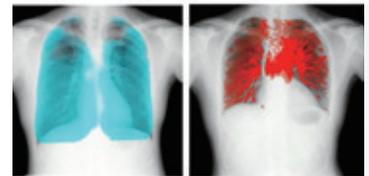


顧客価値 ● 品質の安定化・ブランドへの信頼向上

- KINOSIS
 - ・X線動態解析
- REALISM
 - ・視認性向上
- SNV機能
 - ・高解像度・高性能探針(超音波)

診せる

- 視認の難しい箇所の診断や病変部の見逃し防止
- 目視できず勘に頼っていた体内患部のみ見える化

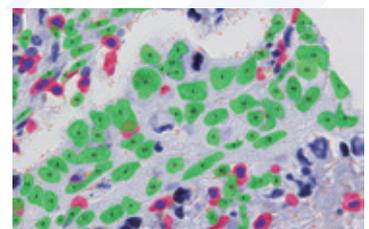


顧客価値 ● 新しい視点を提供するとともに診断レベルの向上に貢献

- 遺伝子診断
 - ・ビッグデータに基づくDNA/RNA変異情報解析
- 創薬支援
 - ・高感度イメージングによる細胞、組織の層別

診せる

- 先天的ながん等発症リスク
- 治療ターゲットの細胞/組織の特性、薬効推定



顧客価値 ● 個別化医療の実現に向けてがん等早期診断、治療の最適化を支援